

令和4年6月23日  
第1回障害者施策推進協議会  
資料2

# 国分寺市障害者計画実施計画進捗状況評価報告書

令和3年度

国分寺市 福祉部 障害福祉課

## 施策評価票・事業評価票の視点

### (1)進捗状況評価(令和3年度・令和4年度)

各年度末までの進捗状況进行评估します。次の3つから選択。

A:目標どおり進行している

B:やや取組が遅れている

C:大幅に取組が遅れている

### (2)達成状況評価(令和5年度)

3か年を経て目標を達成することができたかを評価します。次の4つから選択。

A:目標以上に達成した

B:おおむね達成した

C:目標を下回った

D:実施しなかった

施策評価票

基本目標	1 自分らしい暮らしへの支援体制づくり
分野	1 生活支援
施策の方向	(1) 相談支援体制の充実, (2) 関係機関のネットワークの充実, (3) サービスの質の向上

	令和3年度	令和4年度
進捗状況評価	A (目標どおり進行している)	
進捗状況評価に関する説明	<p>相談支援総合調整会議では、重層的支援体制整備事業の実施案を協議し、福祉の総合相談窓口の設置を含め、相談支援体制の強化に向けた取組が行われた。障害者地域自立支援協議会では、地域生活支援拠点の更なる充実・強化に向けて、拠点機関等が連携して取り組むことで、関係機関のネットワークの充実が図られた。その他、精神障害者保健福祉手帳取得に係る診断書料助成が開始される等、障害のある人が個々のニーズに合わせて日常生活及び社会生活を送ることができるような体制整備が進められたと評価できる。一方、相談支援専門員数の不足が課題となっており、次年度以降、引き続き相談支援事業所の新規開設に向けた取組を行う必要がある。</p>	

	令和3年度～令和5年度
達成状況評価	
達成状況評価に関する説明	

事業評価票

基本目標	1 自分らしい暮らしへの支援体制づくり
分野	1 生活支援
施策の方向	(1) 相談支援体制の充実

【進捗状況評価】A(目標どおり進行している) B(やや取組が遅れている) C(大幅に取組が遅れている)

番号	事業名	事業内容	指標	令和元年度(参考)	令和2年度(参考)	令和3年度	令和5年度 目標値	進捗 状況 評価	進捗状況評価に関する補足	担当課
				実績値						
①	福祉の総合的な相談窓口の体制整備	福祉の総合的な相談窓口の体制整備が求められていることから、市民が安心して相談できる窓口の体制を整備します。	体制の整備	相談支援総合調整会議を開催し、庁内の情報共有と連携を一層強化した。国分寺市社会福祉協議会への委託により、市内の地域包括支援センターのエリアを東西2区域に分け、2人の地域福祉コーディネーターを配置し、総合的な相談支援等を行った。	相談支援総合調整会議を開催し、複合的な課題を抱えた世帯への相談支援の現状と課題の共有等により対応力を高めるとともに、今後の取組について協議を行い、市報にヤングケアラー、ダブルケアラーの概念と主な相談窓口の周知記事を掲載した。 ・地域福祉コーディネーターが総合的な相談支援を行うほか、地域の居場所づくりの支援などの地域力強化の推進、コーディネーター連絡会の開催などのネットワーク構築に取り組んだ。	相談支援総合調整会議を開催し、福祉の総合相談窓口の設置を含め重層的支援体制整備事業の実施案を協議した。ヤングケアラーについて、支援策を検討するとともに、全国調査の結果・主な相談窓口の周知記事を市報掲載し、市のホームページを立ち上げた。 ・地域福祉コーディネーターが総合的な相談支援を行うほか、地域の居場所づくりの支援などの地域力強化の推進、不登校・ひきこもり支援懇談会、民生委員・児童委員の皆様との懇談会、コーディネーター連絡会の開催などのネットワーク構築に取り組んだ。	相談支援総合調整会議において、「重層的支援体制整備事業」の実施を含め、庁内での総合相談窓口の設置等に向けて、人員体制等の準備をする。	A	・重層的支援体制整備事業については、都内自治体への状況調査及び障害者地域自立支援協議会等六つの会議体への関係機関等ヒアリングを実施し、いただいた御意見を踏まえて、事業スキーム、方向性の検討を行った。相談支援総合調整会議には、教育部からもスクールソーシャルワーカー等に参加いただき、ヤングケアラー支援等に関する情報共有・課題の共有を行った。 ・地域福祉コーディネーターが、民生委員・児童委員の皆様との小学校区ごとの懇談会やアンケートを実施し、地域の福祉ニーズや社会資源等の把握に努めた。また、コーディネーター連絡会では、その実施報告と民生委員・児童委員両副会長のインタビュー、グループワークを実施し、包括的支援体制の構築に向け連携強化を図った。併せて、重層的支援体制整備事業について、スーパーバイザーである大学教授より講義、市職員より説明を行い、関係機関等への周知を図った。	地域共生推進課
②	指定特定相談支援事業の体制整備	障害者(児)やその家族が、障害福祉サービス等を引き続き安定して利用できるよう、相談支援専門員等の拡充などサービス等利用計画等の作成の促進に向けた体制を整備します。	相談支援事業所数(事業所)	8	10	10	11	B	令和3年度は、資格を喪失した方や事業所の閉鎖があったため、どちらも増加させることが出来なかったが、令和4年4月には2事業所が新規開設し、事業所数12、相談支援専門員28となっている。今後も引き続き新規開設を呼び掛けていく。	障害福祉課
			相談支援専門員数(人)	27	27	24	32			
③	子どもの発達相談	心身の発達に心配のある又は発達に遅れのある子どもに関する相談を実施します。	初診相談件数(就学後含む)(件)	196	163	226	215	A	今年度は目標値を上回る結果となった。今後も、相談に対する需要は高まっていくことが想定されるため、相談体制の整備を進めつつ、教育相談、健康推進課など関係機関との一層の連携が必要となる。	子育て相談室
④	教育相談事業	適切な教育対応を可能にするために、障害の状態を的確に判断するとともに、保護者等の十分な理解を得るため、教育相談や就学相談との連携を図ります。	相談件数(件)	456	434	514	500	A	近年、相談件数が増加傾向にあることと新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で対面の相談が行なえるようになったことにより、相談件数が大幅に増加した。適正な就学やいじめ、不登校等の問題への対応に努めてきた。	学校指導課

事業評価票

基本目標	1 自分らしくらしへの支援体制づくり
分野	1 生活支援
施策の方向	(2) 関係機関のネットワークの充実

【進捗状況評価】A(目標どおり進行している) B(やや取組が遅れている) C(大幅に取組が遅れている)

番号	事業名	事業内容	指標	令和元年度(参考)	令和2年度(参考)	令和3年度	令和5年度 目標値	進捗 状況 評価	進捗状況評価に関する補足	担当課
				実績値						
①	障害者地域自立支援協議会の運営	障害のある人が安心して暮らせる地域づくりを進めるため、障害福祉にかかわる地域の関係者が参加し、障害者地域自立支援協議会を開催します。地域全体で障害福祉に関する課題を共有し、関係機関と連携を図りながら、課題の解決に向けた取組を行います。 また、必要に応じて各専門部会に作業部会を設置し、個別課題の対応や事業所間の連携をより強化していきます。	協議会開催回数(回) (専門部会、作業部会及びワーキンググループを含む)	43	37	60	45	A	全体会3回、相談支援部会19回(部会4、作業部会15 ※研修を各1回含む)、就労支援部会22回(部会3、作業部会15、WG4)、精神保健福祉部会16回(部会5※研修を1回含む、WG11) 活動の詳細は議事録、各部会の年間活動報告書を参照	障害福祉課
②	基幹相談支援センターによる地域ネットワーク研修	障害福祉にかかわる地域の関係機関や支援者等を対象に、「地域移行」、「障害と介護の連携」、「障害児支援における福祉・医療・教育の連携」などをテーマとした研修等を実施し、地域のネットワーク構築を進めるとともに、関係者の支援力の向上を図ります。	ネットワーク研修開催回数(回)	3	3	3	3	A	6/21~28(動画配信)「地域移行支援in国分寺」申込人数125名、再生回数173回 10/20「世帯を支える支援体制とは」参加者25名(Web19、会場6) 2/22「性教育と性支援」参加者47名(Web45、会場2)	障害福祉課
③	教育・就学相談体制の整備	早期から適切な教育相談・就学相談が行えるよう、関係機関と連携し、相談体制の充実に努めます。	個別支援委員会開催回数(回)	18	15	19	18	A	就学相談件数の増加に伴い、個別支援委員会の開催回数も増加している。1件1件の審議の時間を適切に確保するため、効率的な運営方法の工夫に努めてきた。	学校指導課
④	障害者センターにおける高次脳機能障害者支援促進事業	高次脳機能障害者、その家族等に対する相談支援を実施するとともに、医療機関、就労支援センター等の関係機関との連携を図り、適切な支援を提供します。	連絡会開催回数(回)	3	3	3	3	A	7/21「高次脳機能障害者を支える制度と支援 ~退院から地域生活へ~」(52人) 10/20「当事者が語る高次脳機能障害~当事者の思いと援助職マインドを知る~」(51人) 2/16「主体性を引き出し、立ち上がる支援 ~戦略的当事者を目指して~」(65人)	障害福祉課
⑤	障害者センターにおける発達障害者理解促進事業	発達障害者に対する理解促進を図るため、市民及び関係機関の職員等への講座及び研修を実施します。また、発達障害者の状況、生活上の課題、社会資源等を把握し、発達障害者への支援につなげます。	情報交換会開催回数(回)	2	2	2	2	A	8/4「発達障害のある人に寄り添う支援 ~自己肯定感・自尊感情を育む働きかけ~」(42人) 3/2「8050世帯を支える支援~支援者間で本人理解を深めるには~」(28人)	障害福祉課

事業評価票

基本目標	1 自分らしい暮らしへの支援体制づくり
分野	1 生活支援
施策の方向	(3) サービスの質の向上

【進捗状況評価】A(目標どおり進行している) B(やや取組が遅れている) C(大幅に取組が遅れている)

番号	事業名	事業内容	指標	令和元年度(参考)	令和2年度(参考)	令和3年度	令和5年度 目標値	進捗 状況 評価	進捗状況評価に関する補足	担当課
				実績値						
①	障害福祉サービス等指導検査事業	サービスの質を担保し、給付の適正化を図るため、障害福祉サービス等事業者に対し、指導検査を行います。	実地指導等の実施件数(件)	14	1 (集団指導のみ。15サービス対象。動画視聴形式で実施)	11	15	B	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、実地指導については市役所会議室にて書類確認を行うなどの対策を講じたうえで実施し(10件)、集団指導は動画視聴形式により実施した(1件)。今後も感染状況に柔軟に対応しつつ適切かつ効果的に指導を実施していく。	地域共生推進課
②	事業者向け研修	基幹相談支援センターにおいて、障害福祉にかかわる地域の支援者を対象とした虐待防止、権利擁護、意思決定支援などに関する研修を実施します。	支援者向け研修開催回数(回)	1	1	1	1	A	12/1支援者向け虐待防止研修「これって虐待? ~重度障害者への意思決定支援~」参加者90名(Web67,会場23名)	障害福祉課

施策評価票

基本目標	1 自分らしい暮らしへの支援体制づくり
分野	2 保健・医療
施策の方向	(1) 障害の早期発見・早期支援, (2) 障害のある人の健康の維持・増進

	令和3年度	令和4年度
進捗状況評価	B (やや取組が遅れている)	
進捗状況評価に関する説明	<p>コロナ禍においても工夫して母子保健事業を継続し、保護者に寄り添いながら障害に対する気づきを促し、親子への支援を実施した。障害者地域自立支援協議会の専門部会において、精神科医療機関と地域移行及び地域定着に関する協議を実施し、福祉と医療の連携が推進された。また、医療的ケア児支援関係者会議においては保健・医療・福祉各分野の支援者が医療的ケア児の現状について意見交換を行った。一方、乳幼児健康診査、乳幼児育成事業及び歯科医療連携事業については、新型コロナウイルスによる休止時期の影響等もあり、受診率や実施回数の低下等、やや取組が遅れているため、次年度以降、乳幼児健康診査の受診率の向上に向けて取り組む必要がある。</p>	

	令和3年度～令和5年度
達成状況評価	
達成状況評価に関する説明	

事業評価票

基本目標	1 自分らしいくらしへの支援体制づくり
分野	2 保健・医療
施策の方向	(1) 障害の早期発見・早期支援

【進捗状況評価】A(目標どおり進行している) B(やや取組が遅れている) C(大幅に取組が遅れている)

番号	事業名	事業内容	指標	令和元年度(参考)	令和2年度(参考)	令和3年度	令和5年度 目標値	進捗 状況 評価	進捗状況評価に関する補足	担当課
				実績値						
①	乳幼児健康診査	各段階で健康診査を行うことにより乳幼児の健康管理を行うとともに、疾病の早期発見・乳幼児の健全育成・保護者への育児支援を図ります。	健診受診率 (%)	3～4箇月児健康診査:94.4 1歳6箇月児健康診査:95.8 3歳児健康診査:97.9	3～4箇月児健康診査:85.8 1歳6箇月児健康診査:84.2 3歳児健康診査:74.1	3～4箇月児健康診査:95.4 1歳6箇月児健康診査:91.3 3歳児健康診査:68.1	100	B	各段階で健康診査を行うことで、乳幼児の疾病の早期発見・健全育成の推進、保護者の育児状況の確認を行っている。コロナ禍において、個別健診との併用も行って対応したが、休止していた時期の影響もあり、目標受診率には届いていない。	健康推進課
②	発達健診・乳幼児育成事業	1歳6箇月児健康診査、3歳児健康診査で発達支援が必要とされるお子さんについての個別相談を実施し、育児への助言や障害の有無についてスクリーニングを行います。必要時、発達健診や精密健診へつなぎます。また、乳幼児育成事業では、親子遊びを通じて育児への助言と集団場面での様子を観察して発達の支援を行います。	発達健診実施回数(回)	18	16	18	18	B	コロナ禍により休止時期はあったものの、方法を工夫しながら、発達支援が必要な幼児に対して、心理個別相談や発達健診、育成事業を実施することで保護者の不安に寄り添い、幼児の発達支援を実施できている。	健康推進課
			育成事業実施回数(回)	11	9	8	12			
③	母子保健相談事業	乳幼児母性健康相談や親子ひろばでのミニ相談会や電話、訪問等による個別相談を実施します。	乳幼児母性健康相談開催回数(回)	8	7	9	9	A	乳幼児母性健康相談やミニ相談会の実施、また個別に支援が必要な方への電話・面接・訪問等による支援を実施することで、保護者の育児不安や疑問に対応し、不安軽減を図ることができた。	健康推進課
			親子ひろばミニ相談会開催回数(回)	17	15	19	18			



事業評価票

基本目標	1 自分らしい暮らしへの支援体制づくり
分野	2 保健・医療
施策の方向	(2) 障害のある人の健康の維持・増進

【進捗状況評価】A(目標どおり進行している) B(やや取組が遅れている) C(大幅に取組が遅れている)

番号	事業名	事業内容	指標	令和元年度(参考)	令和2年度(参考)	令和3年度	令和5年度 目標値	進捗 状況 評価	進捗状況評価に関する補足	担当課
				実績値						
①	歯科医療連携推進事業	歯科衛生士が障害者等歯科相談窓口でかかりつけ歯科医を探すことが困難な障害者、在宅要介護者等の相談を受け、身近な地域で適切な歯科医療を受けられるよう、歯科医師会コーディネーターと連携して対応します。	相談件数(件)	88 (電話63 訪問11 面接14)	66 (電話50 訪問10 面接6)	42 (電話36 訪問6 面接0)	94	B	令和2年度以降、新型コロナウイルス感染拡大の影響により実績値が減少したと考えられる。各相談に対して、関係機関等と連携を取りながら、丁寧に対応している。	健康推進課
②	メンタルヘルスセルフチェックシステム(こころの体温計事業)	障害のある人の健康への不安や健康づくりにこたえるため、健康や医療の情報を積極的に提供していきます。	健康や医療の情報提供	市報・ホームページ(「こころの体温計」運営)による情報提供 こころの体温計ポスター掲示 ティッシュの配布(市関係機関、市内店舗、薬局、市イベント事業など3,000個配布)	市報・ホームページ・ホッとおれんじこくぶんじ等(「こころの体温計」運営)による情報提供 こころの体温計ポスター掲示 ティッシュの配布(市関係機関、市内店舗、薬局、市内イベント事業など3,000個配布)	市報・ホームページ・ホッとおれんじこくぶんじ等(「こころの体温計」運営)による情報提供 こころの体温計ポスター掲示 ティッシュの配布(市関係機関、市内店舗、薬局、市内イベント事業など3,000個配布)	継続	A	9月・3月の自殺対策週間・月間に合わせてこころの体温計のティッシュと相談機関一覧のリーフレットを各所に配架した。	健康推進課
③	難病患者等言語リハビリ事業	難病患者等の言語によるコミュニケーション機能の維持・向上及び咀嚼機能の保持等を図るため、言語聴覚士による言語リハビリ事業を支援します。	活動支援	継続	継続	継続	継続	A	言語リハビリ事業を実施している団体に運営費を補助し、難病患者等の言語によるコミュニケーション機能の維持・向上及び咀嚼機能の保持等を図っている。	障害福祉課

施策評価票

基本目標	2 自分らしい社会参加や学びへの支援
分野	1 教育・文化芸術活動・スポーツ等
施策の方向	(1) 療育・教育の充実, (2) 生涯学習・文化芸術活動・スポーツの推進

	令和3年度	令和4年度
進捗状況評価	A (目標どおり進行している)	
進捗状況評価に関する説明	<p>障害児保育事業においては、必要経費の補助を継続して実施した。こどもの発達支援センターつくしんぼの相談・支援件数や、児童発達支援、放課後等デイサービスの利用者数が増加し、個々の児童・保護者に応じた支援の拡大が図られた。新型コロナウイルスの影響により、各種イベントは中止となったが、くぬぎ教室やポッチャ指導等は内容を工夫しながら行い、障害のある人の生涯学習、余暇活動の機会の拡充に取り組んだ。その他、障害児通所支援事業所連絡会では特別支援学校との見学・意見交換会の実施や、インクルーシブな公園の設置に向けた検討の準備が整えられる等、障害のある一人ひとりに応じた療育や教育体制の整備、生涯に渡る社会参加の促進が進められたと評価できる。次年度以降についても、障害児保育事業の体制強化に継続して取り組む必要がある。</p>	

	令和3年度～令和5年度
達成状況評価	
達成状況評価に関する説明	

事業評価票

基本目標	2 自分らしい社会参加や学びへの支援
分野	1 教育・文化芸術活動・スポーツ等
施策の方向	(1) 療育・教育の充実

【進捗状況評価】A(目標どおり進行している) B(やや取組が遅れている) C(大幅に取組が遅れている)

番号	事業名	事業内容	指標	令和元年度(参考)	令和2年度(参考)	令和3年度	令和5年度 目標値	進捗 状況 評価	進捗状況評価に関する補足	担当課
				実績値						
①	こどもの発達センターつくしんぼの事業	心身障害児や発育上、一時的に援助を必要としている児童に対して、適切な指導援助を行うとともに、保護者の相談を受け、支援の拡大を図ります。また、一貫した支援ができるようネットワークづくりを推進するとともに、発達障害に対する相談業務の拡充を図ります。	こどもの発達センターつくしんぼにおける相談・支援件数(就学後含む)(件)	4,759	5,512	6,788	4,890	A	目標値を上回る実績値となった。事業全体(心理相談、専門相談、外来グループ)の需要は高まってきているが、外来グループにおいては、過去の実績値と比較すると利用者数が減少しているグループも一部あり、需要調査や対象の設定、グループの内容について、改めて検討する必要が生じている。	子育て相談室
②	障害児保育事業	保育所において、適切な環境のもとで障害児保育が行われるよう、保育コンシェルジュによるニーズに合った保育サービスの情報提供・保育所見学の同行、保育士等の増配置の補助金の交付及び研修等の人材育成を推進していくことで、保育所全園で障害児を受け入れる体制を強化し、障害児の受け入れを推進します。(参考:令和元年度補助金交付件数 44件, 令和元年度受入施設数 25園)	受入体制の強化	継続 (補助金交付件数:44件 受入施設数:25園)	継続 (補助金交付件数:52件 受入施設数:23園)	継続 (補助金交付件数:53件 受入施設数:28園)	継続	A	医療的ケア児受け入れの対応として看護師等の配置を派遣委託という形で整える等、保育所における適切な支援体制整備を行った。今後も、障害児受け入れに必要な経費について補助することで、継続的な障害児受け入れを推進していきたい。	保育幼稚園課
③	障害児学童保育事業	学童保育所において、障害児を適切な環境のもとで保育を行うことができるよう職員の加配等に対する補助などの支援を行いながら、受け入れを行います。	補助金交付件数(件)	10	17	17	15	A	令和2年度より民設民営学童保育所の加配職員への補助額の引き上げを行った。今後も引き続き障害児を適切な環境のもとで保育を行うことができるよう支援を行う。	子ども子育て支援課
			受入施設数(公立及び私立)(施設)	21	24	25	29			
④	副籍制度	副籍制度における交流及び共同学習を通して、都立特別支援学校と連携しながら障害理解の促進を図ります。	副籍希望者に対する副籍実施人数の割合(%)	100	100	100	100	A	新型コロナウイルス感染症の影響により、学校だよりの送付など、間接交流の取組が多く見られた。副籍交流をより推進するため、特別支援学校との連携強化を図っていく。	学校指導課
⑤	学校生活支援シートの活用の推進	障害のある児童・生徒を支援していく長期計画である学校生活支援シートの活用を推進し、対象の児童・生徒の障害に応じた細やかな支援を行います。	学校生活支援シートが必要な児童・生徒のうち、作成及び活用されている割合(%)	97	98.1	98	100	A	ほぼ全ての学校で、必要な児童・生徒に作成、活用が行われているが、実績値が100%となるよう、さらに啓発に努めていく。	学校指導課

事業評価票

基本目標	2 自分らしい社会参加や学びへの支援
分野	1 教育・文化芸術活動・スポーツ等
施策の方向	(2) 生涯学習・文化芸術活動・スポーツの推進

【進捗状況評価】A(目標どおり進行している) B(やや取組が遅れている) C(大幅に取組が遅れている)

番号	事業名	事業内容	指標	令和元年度(参考)	令和2年度(参考)	令和3年度	令和5年度 目標値	進捗 状況 評価	進捗状況評価に関する補足	担当課
				実績値						
①	公民館における生涯学習の支援	知的障害の人が様々な活動を通して、仲間作り、社会性や生きる力を身につけることを目指しています。誰もが地域で学び続けることができるよう、関係機関と連携して居場所や学習機会の提供に努めます。	くぬぎ教室、サロンの開催回数(回)	本多:教室10・サロン6 並木:教室10・サロン4 恋ヶ窪:教室9	本多:教室6・サロン3 並木:教室7・サロン3 恋ヶ窪:教室0 くぬぎカレッジ7	本多:教室8・サロン1 並木:教室13 恋ヶ窪:教室10 くぬぎカレッジ8	本多:教室11・サロン6 並木:教室11・サロン4 恋ヶ窪:教室11	A	新型コロナウイルス感染症対策のため、本多・恋ヶ窪・並木共に半日にするなど時間を減らすとともに、活動内容も昨年に引き続き調理を取りやめるなどの変更をして行った。またR3年度は文科省委託事業くぬぎカレッジをくぬぎ教室とは別に8回(半日)で実施した。	公民館課
②	コンサート等の文化芸術活動支援	障害者団体と共催し、同団体の周知と、障害者との交流を目的に、市民グループの参加を広く呼びかけ、コンサート等の文化芸術活動を支援します。	コンサートの開催回数(回)	2	1	1	2	B	ロビーコンサートについては、感染症拡大防止対策を講じたうえで開催できたが、本多公民館のグループ企画として実施しているHeart de festa事業については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	公民館課
③	スポーツ推進委員事業	障害のある人が運動を行う場合の指導等の協力を行います。	障害者(児)運動会・お楽しみ会への指導協力	継続	中止 (ユニバーサルスポーツであるボッチャ指導を別途実施)	中止 (ユニバーサルスポーツであるボッチャ競技の指導を別途実施)	継続	C	令和元年度は障害者運動会等への指導協力を行ったが、令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、当該運動会の開催は中止となった。そういった中でも、感染症対策をとりながら、ユニバーサルスポーツであるボッチャ指導を市のスポーツ関係団体に行い、指導力を養った。	スポーツ振興課
④	図書館における障害者サービス	読書バリアフリー法に基づき、読書について不自由を感じる視覚障害者等の読書環境を整備します。	障害者サービス登録者数(人)	35	43	44	50	B	新規の障害者サービス登録者は5名と順調に伸びていたが、5年以上の長期未利用等のデータ削除による減員が4名いたため、最終的な登録者数は1名増の44名となった。	図書館課

施策評価票

基本目標	3 自分らしい働きかたへの支援
分野	1 雇用・就業
施策の方向	(1) 一般就労支援の充実, (2) 福祉的就労の充実

	令和3年度	令和4年度
進捗状況評価	A (目標どおり進行している)	
進捗状況評価に関する説明	<p>障害者就労支援センターの登録者数が徐々に増加しており、生活面も含めた就労相談の充実が図られている。障害者就労施設等の販路拡大のための商業施設での販売会の実施や国分寺障害者施設お仕事ネットワークの価格表作成等、工賃の向上に繋がる福祉的就労の充実に向けた取組を行った。一般就労に関する取組については、就労移行支援事業所連絡会で新たな実習先の開拓に取り組み、市役所での職場体験実習を積極的に実施する等、障害のある人が能力や適性に応じて仕事に就き、働き続けられるような支援の拡大が進んだと評価できる。今後も、自立支援協議会就労支援部会等で関係機関の連携を深め、障害者就労施設等の販売会や価格表の周知を充実させていく等、更なる支援の拡大に取り組む必要がある。</p>	

	令和3年度～令和5年度
達成状況評価	
達成状況評価に関する説明	

## 事業評価票

基本目標	3 自分らしい働きかたへの支援
分野	1 雇用・就業
施策の方向	(1) 一般就労支援の充実

【進捗状況評価】A(目標どおり進行している) B(やや取組が遅れている) C(大幅に取組が遅れている)

番号	事業名	事業内容	指標	令和元年度(参考)	令和2年度(参考)	令和3年度	令和5年度 目標値	進捗 状況 評価	進捗状況評価に関する補足	担当課
				実績値						
①	障害者就労支援センターの運営	障害者の一般就労の機会の拡大を図るとともに、障害者が安心して働き続けることができるよう、身近な地域において就労面と生活面の支援を一体的に提供します。	就労支援センター登録者数(人)	271	269	282	290	A	年間5人ずつ増加させる目標であり、令和3年度の目標280人を達成することができた。	障害福祉課
②	障害者雇用の促進	障害者雇用法定雇用率を遵守し、障害者の計画的な雇用を図っていきます。障害者雇用推進のために、市が率先して障害者の雇用・就労の機会確保の検討を進めていきます。	障害者雇用率(%)	2.5	2.5	2.6	2.6	A	地方公共団体として、障害者の法定雇用を遵守することができている。引続き障害者雇用法定雇用率の維持に努めたい。	職員課
③	職場体験機会の提供	障害のある人の就労に向けた訓練の一環として、市役所内で職場体験実習を実施します。また、地域の企業でも職場体験実習が行えるよう企業に協力を求めています。	職場体験実習開催回数(回)	5	4	5	5	A	①4/21～22②7/7障害福祉課(ヘルプカード等の袋詰め)①3名②3名 ③7/13～14図書館課(書庫クリーニング・消毒等)3名 ④11/10ごみ減量推進課(有害ゴミの分別)9名 ⑤2/21.22.24環境対策課(畜犬封入)7名	障害福祉課

事業評価票

基本目標	3 自分らしい働きかたへの支援
分野	1 雇用・就業
施策の方向	(2) 福祉的就労の充実

【進捗状況評価】A(目標どおり進行している) B(やや取組が遅れている) C(大幅に取組が遅れている)

番号	事業名	事業内容	指標	令和元年度(参考)	令和2年度(参考)	令和3年度	令和5年度 目標値	進捗 状況 評価	進捗状況評価に関する補足	担当課
				実績値						
①	障害者就労施設等の販路拡大の支援	地域活性化包括連携協定等を活用し、障害者就労施設等の販路拡大を支援することで、障害者就労施設で働く障害のある人の工賃向上につながります。	販路拡大	継続	継続	継続	継続	A	令和3年度は地域活性化包括連携協定を活用した商業施設での販売会を3回実施。売上が工賃に反映された想定される。 12/3～5セレオ 売上約91万円 約700人 1/28～30丸井 売上約12万円 約80人 3/11～13丸井 売上約28万円 約200人	障害福祉課
②	障害者就労施設等からの優先調達への推進	市の障害者就労施設等からの物品等の調達方針を広く庁内に周知し、障害者就労施設等からの物品・役務の調達を拡大します。	優先調達の実績がある課(課)	29	33	34	33	A	優先調達の実績が無い課に、優先調達での発注を直接促すことで、順調に実績のある課が増えている。	障害福祉課

施策評価票

基本目標	4 共に生きる地域社会づくり
分野	1 情報アクセシビリティ
施策の方向	(1) 情報提供体制の充実, (2) 意思疎通支援の充実

	令和3年度	令和4年度
進捗状況評価	B (やや取組が遅れている)	
進捗状況評価に関する説明	<p>新しい福祉サービス, 事業所等の情報を集約し, 障害福祉ガイドブックを改訂した。市ホームページにおいてはアクセシビリティの向上に向けた取組を実施し, 障害のある人が円滑に情報を取得・利用できるような情報提供体制の充実が図られた。手話通訳者養成講習会においては, 令和2年度に休止をしたため, 補講を実施した他, 聴覚障害者, 手話への理解を深めるための啓発講座を実施したが, 新型コロナウイルスの影響により講習会の修了者数が減少する等, 意思疎通支援の充実についてはやや取組が遅れている。次年度以降, より多くの受講者が講習を修了し, 手話のできる市民を育成することによって, 障害のある人とのコミュニケーションの充実に取り組む必要がある。</p>	

	令和3年度～令和5年度
達成状況評価	
達成状況評価に関する説明	



事業評価票

基本目標	4 共に生きる地域社会づくり
分野	1 情報アクセシビリティ
施策の方向	(1) 情報提供体制の充実

【進捗状況評価】A(目標どおり進行している) B(やや取組が遅れている) C(大幅に取組が遅れている)

番号	事業名	事業内容	指標	令和元年度(参考)	令和2年度(参考)	令和3年度	令和5年度 目標値	進捗 状況 評価	進捗状況評価に関する補足	担当課
				実績値						
①	障害福祉ガイドブックの作成	障害者(児)の福祉施策・福祉サービスの概要や利用の仕方を掲載した障害福祉ガイドブックを作成し、わかりやすい情報提供を行います。	発行回数(回)	1	1	1	1	A	新しいサービス、事業所等の情報を集約し、障害福祉ガイドブックを改訂した。また、ガイドブックには音声コードを印刷しているほか、音声録音したCDも別途作成しており、情報提供体制の充実を図っている。	障害福祉課
②	ホームページ運営・バリアフリー事業	ホームページにおけるアクセシビリティ(利用しやすさ)の維持・向上のための研修を実施します。	ホームページ操作研修回数(回)	1	0 (システム入替に伴い、ホームページ全体のアクセシビリティチェックを実施)	1 (広報連絡会議でアクセシビリティについての研修を行った)	1	A	アクセシビリティの維持・向上のために、アクセシビリティ調査の結果やガイドラインを活用しながら、各課が作成するホームページのアクセシビリティの維持・向上を図っていく。	市政戦略室

事業評価票

基本目標	4 共に生きる地域社会づくり
分野	1 情報アクセシビリティ
施策の方向	(2) 意思疎通支援の充実

【進捗状況評価】A(目標どおり進行している) B(やや取組が遅れている) C(大幅に取組が遅れている)

番号	事業名	事業内容	指標	令和元年度(参考)	令和2年度(参考)	令和3年度	令和5年度 目標値	進捗 状況 評価	進捗状況評価に関する補足	担当課
				実績値						
①	市主催事業等への手話通訳者の設置	各課で主催する市民向け事業、傍聴できる審議会等に、必要に応じて手話通訳者を設置するよう努めます。	設置回数(回)	39	16	35	43	B	各課が主催する市民向けイベントや説明会等に手話通訳者を派遣した。	障害福祉課
②	手話通訳者養成講習会	手話のできる市民を育成し、手話人口のすそ野を広げることをもって、聴覚障害者の福祉の増進を図ります。	修了者数(人)	74	0 (新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、カリキュラム途中で、中止)	38 令和2年度の補講として講座を実施した。	76	C	新型コロナウイルスの感染拡大の影響で受講辞退があり、修了者数が減少した。	障害福祉課

施策評価票

基本目標	4 共に生きる地域社会づくり
分野	2 生活環境
施策の方向	(1) 移動しやすい環境の整備

	令和3年度	令和4年度
進捗状況評価	A (目標どおり進行している)	
進捗状況評価に関する説明	<p>バリアフリーの環境整備を実現することを目的に、市民や事業者と広くバリアフリーの考え方を共有し、面的・一体的なバリアフリー化を推進するため、国分寺市バリアフリー基本構想が策定された。策定にあわせ、市内の施設の設備や移動可能な経路の情報を提供するため、バリアフリーマップが作成された。これらはホームページ等を含め広く閲覧が可能となっており、だれもが自由に外出し、行きたい場所に行ける環境を整備するための取組が進められたと評価できる。また、鉄道駅へのホームドアの設置について協議が行われ、移動しやすい環境の整備に向けた取組が継続して実施されている。次年度以降は、バリアフリー基本構想で定めた特定事業の推進を図るため、バリアフリー法に規定される特定事業計画を作成し、具体的なバリアフリーの環境整備に取り組む必要がある。</p>	

	令和3年度～令和5年度
達成状況評価	
達成状況評価に関する説明	

事業評価票

基本目標	4 共に生きる地域社会づくり
分野	2 生活環境
施策の方向	(1) 移動しやすい環境の整備

【進捗状況評価】A(目標どおり進行している) B(やや取組が遅れている) C(大幅に取組が遅れている)

番号	事業名	事業内容	指標	令和元年度(参考)	令和2年度(参考)	令和3年度	令和5年度 目標値	進捗 状況 評価	進捗状況評価に関する補足	担当課
				実績値						
①	福祉有償移送事業所への支援	移動制約者や移動困難者の移動手段確保のため、公共交通機関では対応できないサポート部分を補完する福祉有償移送事業所の運営費を支給し、障害者の移動手段の拡充を図ります。	活動支援	継続	継続	継続	継続	A	福祉有償移送事業所の運営費を支給し、障害者の移動手段の拡充を図っている。	障害福祉課
②	バリアフリーの推進	バリアフリーに関する基本構想を策定し、バリアフリーの推進に努めます。	基本構想の策定・運用	基礎調査の実施	基本構想検討	基本構想策定	基本構想の運用	A	令和3年度は、国分寺市バリアフリー基本構想を策定した。令和4年度に特定事業計画を作成し、具体的な事業の推進に努める。	まちづくり計画課
③	鉄道駅のバリアフリー化の推進	視覚に障害のある人などが、駅ホームにおいて、線路への転落、電車との接触等をする事故が全国的に増加していることから、鉄道会社と連携して、ホームドアの設置に向け取り組みます。	ホームドアの設置	設置のための検討	1駅設置	協議	協議	A	鉄道駅へのホームドア設置については、令和2年度に1駅(西武国分寺駅)設置を完了した。残りの駅についても、鉄道事業者に引き続き働きかけを実施していく。	まちづくり計画課

基本目標	4 共に生きる地域社会づくり
分野	3 安全・安心
施策の方向	(1) 防災対策の推進, (2) 防犯対策の推進

	令和3年度	令和4年度
進捗状況評価	B (やや取組が遅れている)	
進捗状況評価に関する説明	<p>市民防災まちづくり学校を修了し、申し出のあった市民を市民防災推進委員として認定しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため市民防災まちづくり学校の開催を中止し、委員を認定することができなかったため、令和3年度も計画した数値を下回っている。生活安全・安心メール配信サービスの登録者は増加しており、地域住民等へ犯罪、事件情報、不審者情報等を迅速に配信した。震災総合防災訓練については、市民の防災意識の向上と防災知識の普及啓発を図るため、コロナ禍でもオンラインを活用し、防災訓練を継続して実施しているが、従来の会場参加型の訓練に比べて参加者が減少している。次年度も引き続き、感染症対策に配慮しながら会場参加型の訓練の実施に努めるとともに、オンラインによる訓練の周知を図っていく必要がある。その他、障害者地域自立支援協会の専門部会にて「災害時における障害者支援とは」をテーマに研修会を実施し、本研修内容を協議会のニューズレターにも掲載する等、安全で安心な地域社会づくりについて啓発を行った。</p>	

	令和3年度～令和5年度
達成状況評価	
達成状況評価に関する説明	

事業評価票

基本目標	4 共に生きる地域社会づくり
分野	3 安全・安心
施策の方向	(1) 防災対策の推進

【進捗状況評価】A(目標どおり進行している) B(やや取組が遅れている) C(大幅に取組が遅れている)

番号	事業名	事業内容	指標	令和元年度(参考)	令和2年度(参考)	令和3年度	令和5年度 目標値	進捗 状況 評価	進捗状況評価に関する補足	担当課
				実績値						
①	避難行動要支援者の支援	災害時に、自らの命を守るためにはどのようなことが必要であるかといったことを、障害児(者)、高齢者などの避難行動要支援者と周りの支援者について明確にし、避難行動要支援者とその家族、地域住民等の危機管理意識を向上させるため、避難行動要支援者とその家族、地域住民が、協力して災害発生時に適切な行動ができるよう啓発を図ります。	避難行動要支援者登録者総数(人)	2,264	2,285	2,302	2,400	A	職権登録者に対する同意勧奨や市ホームページにおけるマニュアルの掲載など、本制度を必要とする市民に対して、制度の周知を行い、登録者の拡充を図っている。	地域共生推進課
②	防災まちづくり推進地区事業、市民防災推進委員会事業	町会、自治会やコミュニティ協議会などと連携を図り、地域住民による声かけ・見守り運動を推進します。	防災まちづくり推進地区(地区)	15	15	15	17	B	市民防災まちづくり学校を修了した32名のうち申出のあった26名が市民防災推進委員となった。また、南町一丁目自治会及び本町二丁目北町会に対して出前講座を実施し、防災まちづくり推進地区を目指していくための取組を支援した。	防災安全課
			委員認定者数(人)	1,273	1,273	1,299				
③	震災総合防災訓練事業	災害発生時における避難場所、避難行動などの確認、また、日頃の災害への備えなどについて周知を図ります。	参加者数(人)	7,215	1,338	1,576	10,000	B	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、令和2年度に引き続き会場を設けず、家庭で参加できるオンライン型の訓練を実施したため、令和元年に比べて参加者が減少した。オンライン型訓練が2回目となり前年度に比べて微増となった。訓練では、市ホームページによる防災講演会や各種防災情報の配信、在宅避難者支援アプリの実証実験等を通じて、防災知識の普及啓発と防災意識の高揚を図ることはできた。今後も、災害発生時に備えて、関係機関と連携しながら、訓練を実施していく。	防災安全課
④	災害時個別支援計画の策定	在宅で人工呼吸器を使用している方の災害時個別支援計画を策定します。	災害時個別支援計画を必要とする在宅人工呼吸器使用の障害者に対する計画策定の割合(%)	100	100	78	100	B	令和3年度新規把握ケース2件について、計画を策定中である。他ケースについては年に一度の計画更新や状況確認を随時実施している。	障害福祉課

事業評価票

基本目標	4 共に生きる地域社会づくり
分野	3 安全・安心
施策の方向	(2) 防犯対策の推進

【進捗状況評価】A(目標どおり進行している) B(やや取組が遅れている) C(大幅に取組が遅れている)

番号	事業名	事業内容	指標	令和元年度(参考)	令和2年度(参考)	令和3年度	令和5年度 目標値	進捗 状況 評価	進捗状況評価に関する補足	担当課
				実績値						
①	消費生活相談室機能強化事業	消費者トラブルの複雑化, 多様化や相談件数の増加に対応するため, 消費生活相談員が受講する研修の機会を増やし, 消費生活相談体制を強化します。	消費生活相談員研修受講人数(延べ)(人)	43	30	42	51	A	令和2年度はコロナの流行により, 研修会の開催回数が減少した。令和3年度は, リモート研修の充実により参加機会が増加した。	経済課
②	生活安全・安心メール配信サービス事業	犯罪, 事件情報, 不審者情報等を電子メールで市民に提供し, 犯罪被害を未然に防ぎます。	登録者数(人)	19,763	20,116	20,470	20,500	A	防犯まちづくり委員会等での周知を行ったが, コロナ禍で国分寺まつり等での周知機会が失われたこともあり, 単年度の数値としてはあまり伸びなかったが, 令和元年度の急増分もあり令和3年度の目標値は上回っている。今後も迅速な配信を行っていく。	防災安全課

基本目標	4 共に生きる地域社会づくり
分野	4 差別の解消及び権利擁護の推進
施策の方向	(1) 心のバリアフリーの推進, (2) 権利擁護の推進

	令和3年度	令和4年度
進捗状況評価	A (目標どおり進行している)	
進捗状況評価に関する説明	<p>新型コロナウイルスの影響によりイベントの中止は多かったが、市関連イベント等にてヘルプマーク・ヘルプカードの普及啓発活動を行い、障害者週間に合わせて啓発ポスターの作成及び掲示を行う等、コロナ禍でも実施できる方法を工夫し、障害への理解促進に関する啓発活動を実施した。障害者差別解消支援地域協議会設置済みの自治体の視察を行い、協議会の設置の検討を継続して行っている。成年後見活用あんしん生活創造事業の相談件数が増加しており、障害のある人の権利擁護のための制度利用支援が推進されている。その他、障害者地域自立支援協議会の専門部会では、退院請求等当番弁護士制度について弁護士による情報提供を受け、精神障害者の権利擁護について検討を進める等、障害を理由とする差別が生じることなく、権利が守られる体制整備が進められたと評価できる。次年度以降、より広く市民が障害理解への関心を持つことができるよう、講演会の実施等の取組も行っていく必要がある。</p>	

	令和3年度～令和5年度
達成状況評価	
達成状況評価に関する説明	



事業評価票

基本目標	4 共に生きる地域社会づくり
分野	4 差別の解消及び権利擁護の推進
施策の方向	(1) 心のバリアフリーの推進

【進捗状況評価】A(目標どおり進行している) B(やや取組が遅れている) C(大幅に取組が遅れている)

番号	事業名	事業内容	指標	令和元年度(参考)	令和2年度(参考)	令和3年度	令和5年度 目標値	進捗 状況 評価	進捗状況評価に関する補足	担当課
				実績値						
①	理解促進・普及啓発事業	障害への理解促進に関する講演会等の開催や、「ヘルプマーク」・「ヘルプカード」の普及啓発活動などを通じて、障害や障害のある人への理解を深め、互いを思いやる心を育む「心のバリアフリー」の推進に取り組んでいきます。	障害への理解促進に関する啓発活動の実施回数(回)	12	6	12	13	A	人権啓発映画上映会、ガイドヘルパー養成講座、市民防災まちづくり学校、人権のつどい、市報記事、障害者週間行事、市内小学校、市民福祉講座、マルイ・お仕事ネット企画等で啓発活動を実施した。	障害福祉課
②	障害者差別解消の推進	障害を理由とする差別の解消を推進するため、障害者差別解消法の改正動向等も踏まえ、普及啓発に努めます。	障害者差別解消法に基づく取組の実施	職員への普及啓発	職員への普及啓発 他市及び国の法改正の動向等を踏まえ、障害者差別解消支援地域協議会の設置を検討	職員への普及啓発 障害者差別解消支援地域協議会の設置を検討	実施	A	障害者差別解消に関する職員研修や庁内共有の電子掲示板に通信を載せることにより、職員への普及啓発を図っている。障害者差別解消支援地域協議会設置済みの自治体の視察を行い、協議会の設置を検討した。	障害福祉課

事業評価票

基本目標	4 共に生きる地域社会づくり
分野	4 差別の解消及び権利擁護の推進
施策の方向	(2) 権利擁護の推進

【進捗状況評価】A(目標どおり進行している) B(やや取組が遅れている) C(大幅に取組が遅れている)

番号	事業名	事業内容	指標	令和元年度(参考)	令和2年度(参考)	令和3年度	令和5年度 目標値	進捗 状況 評価	進捗状況評価に関する補足	担当課
				実績値						
①	福祉サービス総合支援事業	弁護士等による専門相談や第三者性を有する苦情対応機関を設置し、福祉サービス利用に関する苦情への適切な対応を行っていきます。	苦情相談(障害者福祉に係るもの)	継続 (相談件数:5件)	継続 (相談件数:4件)	継続 (相談件数:3件)	継続	A	相談件数はやや減少傾向だが、新たな取組として、周知啓発のため関係機関向けの苦情対応に係る研修を企画・実施した。	地域共生推進課
②	成年後見活用あんしん生活創造事業	判断能力の低下により自らの財産管理や日常生活を営むことが困難な方及びその親族への制度利用支援を行います。	相談実人数(人)	39 (知的障害者13 精神障害者12 その他14)	45 (知的障害者15 精神障害者14 その他16)	54 (知的障害者13 精神障害者19 その他22)	31	A	本事業の相談者は、増加傾向が続いており、特に成年後見制度申立支援では一人に対する相談対応件数が複数回にわたった。	地域共生推進課

基本目標	5 自立を支援する人づくり
分野	1 人材の養成と確保
施策の方向	(1) 障害理解・病気理解の促進, (2) サービスを担う人材の養成と確保, (3) 障害当事者・家族への支援

	令和3年度	令和4年度
進捗状況評価	A (目標どおり進行している)	
進捗状況評価に関する説明	<p>学校や保育所・学童保育所に従事する職員について、障害を理解し適切な配慮や支援が行えるよう特別支援教育に関する研修や保育所・学童保育所における障害児保育研修等が計画的に実施され、人材育成の取組が継続的に行われた。ガイドヘルパー養成研修の実施に向けた協議を関係機関と行い、専門的な人材の確保に向けて、障害福祉の仕事の魅力を発信する取組が推進された。障害者団体への補助金の交付や懇談会の実施を通じ、障害当事者・家族への支援を継続して行った。その他、障害者地域自立支援協議会のニュースレターでは、主に支援者向けの情報発信を行う等、福祉を支える人材の養成・確保に向けた取組が推進されたと評価できる。次年度以降、ガイドヘルパーの養成研修の実施等、人材の確保に向けた更なる取組を進めていく必要がある。</p>	

	令和3年度～令和5年度
達成状況評価	
達成状況評価に関する説明	

事業評価票

基本目標	5 自立を支援する人づくり
分野	1 人材の養成と確保
施策の方向	(1) 障害理解・病气理解の促進

【進捗状況評価】A(目標どおり進行している) B(やや取組が遅れている) C(大幅に取組が遅れている)

番号	事業名	事業内容	指標	令和元年度(参考)	令和2年度(参考)	令和3年度	令和5年度 目標値	進捗 状況 評価	進捗状況評価に関する補足	担当課
				実績値						
①	教員研修の推進	学級担任のための障害児教育にかかわる研修会や情報交換等の研修を行います。	特別支援教育に関する研修会の開催回数(回)	5	4	5	5	A	第3次国分寺市特別支援教育基本計画(義務教育時)に基づき、計画的に研修を実施してきた。令和4年度からは、第4次国分寺市特別支援教育基本計画(義務教育時)に基づき、教員研修の充実を図っていく。	学校指導課
②	保育所・学童保育所の障害児保育研修	市内を3つのエリアに分け、各エリア内に設置した基幹型保育所が、保育の質の維持・向上のため、相互に連携を図り、外部機関等と連携しながら、保育施設に対して障害児保育に関わる内容なども含めた情報の共有・助言指導・各種研修等を行います。また、学童保育所に従事する職員の障害児保育に関する知識の習得及び技術の向上のため、各種研修等を実施します。	保育の質の維持・向上	継続	継続	継続	継続	A	基幹型保育所のスポット研修枠にて医療的ケア児対応等保育ニーズに合わせた研修を実施、基本的な情報提供や事業への理解・意識を強化できている。 日々の保育に反映できるよう、障害児の特性を踏まえた対応について講師を招いて学ぶ。また、市内障害児施設職員による研修を実施し連携強化を図った。	保育幼稚園課 子ども子育て支援課

事業評価票

基本目標	5 自立を支援する人づくり
分野	1 人材の養成と確保
施策の方向	(2) サービスを担う人材の養成と確保

【進捗状況評価】A(目標どおり進行している) B(やや取組が遅れている) C(大幅に取組が遅れている)

番号	事業名	事業内容	指標	令和元年度(参考)	令和2年度(参考)	令和3年度	令和5年度 目標値	進捗 状況 評価	進捗状況評価に関する補足	担当課
				実績値						
①	障害福祉の魅力発信	様々な手法を通して、幅広い世代に障害福祉の仕事の魅力を発信します。	障害福祉の魅力発信			関係団体との協議	実施	A	障害福祉の人材確保に向け、関係団体と協議し、次年度のガイドヘルパー養成研修の実施に向け、協議を行った。	障害福祉課
②	障害者支援ボランティア養成講座	障害者に対する理解を深め、ボランティアの養成を目指す講座を開催します。公民館くぬぎ教室の活動や運営の紹介を通して、スタッフの養成を行います。	講座の開催回数(回)	2	3	4	3	A	令和3年度についてボランティア養成講習会ではなく、文科省委託事業の中で「障害を理解するための講座」として全4回実施した。	公民館課

事業評価票

基本目標	5 自立を支援する人づくり
分野	1 人材の養成と確保
施策の方向	(3) 障害当事者・家族への支援

【進捗状況評価】A(目標どおり進行している) B(やや取組が遅れている) C(大幅に取組が遅れている)

番号	事業名	事業内容	指標	令和元年度(参考)	令和2年度(参考)	令和3年度	令和5年度 目標値	進捗 状況 評価	進捗状況評価に関する補足	担当課
				実績値						
①	障害当事者団体等の育成・支援	障害のある当事者が、様々な活動を通し、自立と社会参加できるよう、当事者団体の育成と支援をします。また、障害福祉ガイドブック等を通じた周知を行います。	団体の育成・支援	継続	継続	継続	継続	A	障害者団体への補助金の交付や懇談会の実施など、団体に対する支援を行っている。障害者団体の情報を障害福祉ガイドブックに掲載したり、チラシ・会報誌等を障害福祉課の窓口に配架したりなど、各団体の周知を図っている。	障害福祉課
②	ピアサポート支援	障害のある当事者同士の交流や、障害者がかかえる、様々な問題の解決に当たるための活動に対する支援をします。	活動支援	継続	継続	継続	継続	A	地域活動支援センターつばさにおいて、サロン事業を通して、障害者同士の不安等をお互いに受け止めたり、助け合ったりする機会を創出している。精神障害者やその家族がかかえる、さまざまな問題の解決にあたるための活動を実施している障害者団体の運営費を補助している。	障害福祉課